

# 第1回

# 医療放射線リスクコミュニケーションセミナー

放射線防護部会では、昨年度まで全国10都市で計10回「放射線防護セミナー」を開催してきました。この放射線防護セミナーでは、“放射線防護の基礎”に関してレクチャーし、患者からの被ばく相談に関するグループワーク演習も行いました。本年度は、放射線防護セミナーの内容から一歩踏み込み、リスクコミュニケーションに焦点を当てた「医療放射線リスクコミュニケーションセミナー」を企画しました。皆さまの積極的な参加を期待しております。

**日時** 平成**30**年**11**月**4**日（日）9：30～16：30（受付9：00～）

**場所** 千葉大学医学部附属病院 外来診療A棟3階会議室  
（〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1） <https://www.ho.chiba-u.ac.jp/>

**定員**  
**30**名

**申込期間**

平成**30**年**9**月**25**日（火）～**11**月**1**日（木）

参加費：会員 6,000円（放射線防護部会員 4,000円）  
非会員 12,000円

## プログラム

9：30～9：35	開会挨拶	放射線防護部会長	塚本 篤子
9：35～10：25	講演①「エビデンスから探る放射線健康リスク」	筑波大学	磯辺 智範
10：25～11：10	講演②「メディカルスタッフの被ばく管理」	NTT東日本関東病院	塚本 篤子
11：10～12：00	講演③「医療被ばくのリスクコミュニケーション」	総合病院国保旭中央病院	五十嵐隆元
12：00～13：00	休憩		
13：00～14：30	演習「シミュレーションツールを使用したリスク評価」	金沢大学	松原 孝祐
14：40～16：10	グループワーク「医療被ばく相談」	福島県立医科大学	大葉 隆
16：10～16：20	閉会挨拶	関東東支部理事（学術委員長）	武井 宏行

## <申込方法>

日本放射線技術学会HP 会員システム『RacNe（ラクネ）』にログインしてお申し込みください。非会員の方もご利用いただけます。はじめにお申し込みの手順をご一読ください。

\*E-mailアドレスは、必ず連絡可能で添付文書が受け取れるアドレスを正確にご登録ください。

\*セミナー当日までの連絡はすべてメールで行います。

\*メールが届かない場合、迷惑フォルダに入っていないかご確認ください。

\*演習でパソコンを使用しますので、ご持参ください。

## <参考テキスト>

放射線医療技術学叢書（31）「図解放射線防護ミニマム基礎知識（当日割引販売あり）」

**その他**：本セミナーは日本救急撮影技師認定機構 認定ポイント対象セミナーです。

本セミナーの受講により、2ポイントの認定ポイントが付与されます。

また、本セミナーは日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構 認定単位対象セミナーです。

本セミナーの受講により、3単位が付与されます。



公益社団法人

日本放射線技術学会

教育委員会、放射線防護部会、関東支部

問合せ先：筑波大学医学医療系 磯辺智範

[tiso@md.tsukuba.ac.jp](mailto:tiso@md.tsukuba.ac.jp), 029-853-7834